



KTCC NEWS



2022年09月

実習生の配属同行 大阪府K社・ファットさん

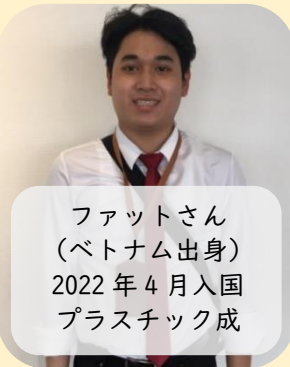
日本への想い

ベトナムから4月に来日したファットさんは、この度配属組合にて1ヶ月にわたる教育(日本語・生活指導等)を修了し、無事K社に配属できました。

彼は幼い頃から日本の食べ物や文化に興味を持ち、友人が既に実習生として日本で働いていたこともあって日本に行くことを決意しました。しかし、コロナの影響でしばらく入国できず、彼は一度挫折しかけたそうです。それでも日本で技術を身につけ、母国で家族のために起業したいという気持ちが強く、夢を諦めたくない一心で独学で日本語の勉強を続け、その時期を乗り越えたと言います。

組合スタッフのフォロー

配属当日、企業訪問に先立ち、今後日本で順調に実習生活を送っていただくために必要な「行政・金融機関」での手続きに私も同行し、弊組合の母語スタッフの通訳を介して一緒に手伝えました。そして企業に向かう前、一緒に食事を取りながら組合スタッフはファットさんに日本の食事マナーや生活でのアドバイス、コミュニケーションの取り方等について指導しました。



ファットさん
(ベトナム出身)
2022年4月入国
プラスチック成

組合では実習生との適度な距離感を保ちながらも実習生に何か悩み事や心配事があった場合、組合スタッフに気軽に相談できるように、配属前の段階から会話をしたり食事の時間を設け、親密な関係を築くことを心がけています。ファットさんとも距離が縮まり、会話も弾みました。



心強い存在

早速企業で配属手続きをした上で、これから一緒に働く先輩社員と挨拶を交わし、簡単な業務説明とともに工場見学をさせていただきました。そしてK社では代々配属する実習生に社長が付き添い、一緒に買い物をする伝統があるとのこと、なんと一週間分の食材を買っていただき、ファットさんは大喜びでした。さらに、社長は彼の荷物運びや寮の案内まで手伝って下さり、ファットさんが心強い社長に出会え、夢への一歩を踏み出したことにスタッフ一同は安堵しました。



組合スタッフの声 広報課の井手さん

◎趣味：プロ野球鑑賞
◎入社時期：2015年



国際協力授業見学 滋賀県R高校訪問

6月のとある日、滋賀県のD社の実習生8名は同県内にあるR高校を訪問しました。その理由としては学校側から授業の一環として「国内でできる国際協力について考える」とともに「学生が実習生に日本語を教え、交流する」ことを目的にオファーが届いたからです。



現在の担当業務について

A 弊組合や技能実習制度のことを知ってもらうために企業に訪問して説明を行ったり、オン・オフラインセミナーを開いて外国人材とのコミュニケーションの取り方、接し方、活用方法について講演し、適切なアドバイスをしています。

仕事でやりがいを感じた時は?

A 日本に来たばかりの時はあどけなかつた実習生が、いつの間にか、一人前になっていました。さらに後輩の実習生だけではなく、日本人の新入社員教育まで任され、職場で活躍していた時はとてもやりがいを感じました。

印象に残っている実習生は?

A 最初おどおどしく一人で病院や買い物にも行けない実習生がいました。徐々にその子に会うと、すっかりとした青年になっていて、実習を終え今度はエンジニアとして再入国するとの報告があり、とても嬉しかったです。

今後の目標は?

A より多くの実習生に日本を好きになってもらうことです。そのためには実習生と企業をフォローするとともに、実習生の成長が企業の戦力アップとなりお互いがウィンウィンの関係になるよう日々努めています。

授業は四回にわたって行われ、私たちが訪問したのは一回目の授業でした。学校に着いて二人の実習生に今の気持ちを聞くと、「人見知りだから学生とどんなことを話したいかわからない」と緊張した様子でしたが、もう一人の実習生は「日本の学校に初めて来たからとても楽しい!」と授業が始まる前からウキウキした姿を見せてくれました。

当日は実習生が一名ずつ各グループに招かれ、学生それぞれが事前に準備してきた授業を受ける形で進められました。例えば、「もらう・くれる・あげる」の違いと使い分けについて、Aグループは「人生ゲーム」を用意し、飽きずに楽しく理解してもらおうように工夫をしていたり、Bグループでは自ら作った「OXクイズ」を実習生に出題していたりしました。実は今回参加していた実習生の多くはN2レベルの日本語力を持っており、出したクイズを全問正解するほど授業に対する理解度が高かったです。



一方、授業の半分が終わる頃には皆既に仲良くなっていて、最初是人見知りで何を話せばいいかわからないと心配していた実習生もすっかり馴染み、学生と冗談を言い合っていました。今回の授業を通して学生は異文化について理解し、実習生は日本語でのコミュニケーション力とともに、実習生活でとっておきの思い出を作ることができ、お互いにとって非常に有意義な時間になりました。今後もこのような交流の場が増えることを心より願っています。



本部外観



～ 世界の人々に日本を好きになってもらう ～

協同組合関西技術協力センターは、2002年に設立された外国人技能実習制度における受け入れ監理団体です。2019年には特定技能制度における支援機関として登録されました。教育・各種サポートは、受け入れ企業様に好評を頂いております。「日本企業と諸外国との架け橋になりたい」「日本で成長した若者を世界中に増やしたい」そのような想いで日々活動しております。「何の知識もないけれど...」「実習生と直接話してみたい」等々、お気軽にお問い合わせください。

発行・お問い合わせ 大阪本部 広報課 TEL:06-6333-2373 (平日9時~18時)

- ◎大阪本部 〒561-0832 大阪府豊中市庄内西町1丁目3番15号
- ◎名古屋事務所 〒453-0013 愛知県名古屋市中村区亀島2丁目14番10号フジオフィスビルディング4F
- ◎広島事務所 〒730-0051 広島県広島市中区大手町3丁目8番1号 大手町中央ビル10F